

第三セクターの経営情報について

平成26年8月21日
産業経済局商業振興課

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社	
会社概要	会社の事業内容	1. 北九州市中心市街地活性化基本計画掲載の事業 2. イベント開催等に関する業務 3. 北九州市からの受託業務 4. 小倉城等指定管理者業務 5. その他自主事業	
	資本金額	32,000	千円
	本市の出資額	1,000	千円
	本市の出資割合	3.125	%
	従業員数	(平成26年3月31日現在) 40 人	
営業報告の要点		<p>小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のための活動を行った。</p> 1. 中心市街地活性化基本計画掲載の事業 小倉地区において、「こくらハローズ事業」、「インフォメーション事業」、「おもてなしトイレ」、「共通駐車券業」等の活動を実施。 2. 賑わいづくり事務局業務 「小倉イルミネーション」、「紫川で会いましょう」の実行委員会や「大乾杯大会」における事務局業務を行った。 3. 北九州市からの受託業務 人件費の削減などにより、事業運営の見直しを図った。 4. 小倉城等指定管理者業務 「小倉城」、「小倉城庭園」及び「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行ったが、耐震工事に伴う人員削減による退職者への退職一時金の支給や降雨による小倉城桜まつりにおける売上減少などにより、収入・損益ともに前年度を下回った。 5. その他自主事業 小倉地区における「サンリオ小倉ビル」では、入居テナントへの来店者数が順調に推移した。また、黒崎地区における「ニューながしまフード」では、厳しい事業運営を迫られる中、事業強化により黒字確保に努めた。	
収支状況の要点	当期純利益	4,384	千円
	前年度との比較	・売上高 347,041千円（前年度比 1,348千円の増） ・経常利益 6,834千円（前年度比 9,320千円の減） （前年度経常利益 △16,154千円） ・当期純利益は 4,384千円（前年度比 457千円の増） （前年度純利益 3,927千円）	
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	・前期末（平成25年3月31日）の繰越利益剰余金 2,005千円	
利益処分	当期末処理利益（損失）	6,389	千円
株主総会 （平成26年6月23日開催）	監査報告	監査役1名が監査した結果、適法かつ正確であった。	
	議案	決議事項 第1号議案 第9期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）事業報告及び決算（案）の件 第2号議案 取締役及び監査役の任期満了による改選の件 報告事項 1 第10期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業計画の件 議案は異議なく承認可決。	

（平成26年3月31日現在）

北九州まちづくり応援団株式会社
平成25年度経営状況報告

平成26年8月21日
産 業 経 済 局

1号議案

平成25年度事業報告書

〔 自：平成25年4月1日 〕
〔 至：平成26年3月31日 〕

活動の概要および成果

当社は、北九州市の小倉地区並びに黒崎地区中心市街地の賑わい創出の為の活動を行なってまいりました。

当年度は従来と同様に①北九州市中心市街地活性化基本計画（小倉地区・黒崎地区）掲載の事業、②賑わいづくり事務局業務、③北九州市からの受託事業、④指定管理業務、⑤「ニューながしまフード」事業、⑥「サンリオ小倉ビル」事業を進めてまいりました。

このうち小倉地区の「北九州市小倉地区中心市街地活性化基本計画」掲載の事業のうち「こくらハローズ」「インフォメーション事業」「おもてなしトイレ」「共通駐車券事業」の各事業、および「賑わいづくり事務局業務」については、おおむね予定通りの活動が出来て、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与できたものと思います。

「北九州市からの受託事業」（小倉地区・黒崎地区）については、当年度、北九州市からの受託金が大幅に削減され、従来の事業運営では事業を継続することが困難な状況となりました。そのため、小倉地区では、新規に補助金事業（商店街支援・起業支援等）を受託し、削減分を補填するとともに利益の確保に努めました。また、黒崎地区では、人員を削減し経費を削減することにより、受託金の削減に対処してきました結果、昨年を上回る黒字を確保することができました。

北九州市からの「指定管理者業務」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、今年度も1年間を通じて様々なイベント・講習会などを開催してまいりましたが、耐震工事による退職者への退職一時金を支給したことや、今年3月の小倉城桜まつりが降雨によりほとんど売上がなかったことなどより、収入・損益とも前年を下回る結果となりました。

この指定管理者業務につきましては、平成25年度をもって市との5年間の契約が終了するため、平成26年度からの5年間について新たに指定管理者の公募が行われましたが、再度当社で受託することが出来ました。

「ニューながしまフード」については、黒崎地区に新たに大型商業店舗がオープンしたことなどにより、厳しい事業運営を迫られておりましたが、商店街イベントに積極的に参加したり、品揃えの幅を上げたり、展示方法の変更・他地域の特産店との連携を強化するなどして、なんとか黒字を確保することが出来ました。

「サンリオ小倉ビル」については、1Fテナントの「カルディー」は引き続き来店者が順

調な推移していることから安定的な賃料を得ることが出来ています。2 Fのテナント「ママトモ」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設「ママトモ」の認知 PR 活動を行ってきた結果、徐々に有料託児人数が増加してきています。また3 Fの多目的スペースについては、子育て支援講座などへの貸出しを推進したことにより利用件数が増加するとともに、講座期間中「ママトモ」への有料託児人数の増加にもつなげることが出来ました。

なお本ビルを賃借するに当たり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金1600万円と銀行からの借入金により調達しておりますが、銀行借入金については、予定通り返済を進めており、当期末の借入金残高は934万円となっております。(返済完了は平成34年9月末予定)

以上の事業活動の結果、当社の今年度の収入は、3億4704万円(対前年98.3%)となり若干前年を下回ることとなりましたが、経常利益としましては、683万円(対前年143.1%)の黒字となり前年を大きく上回る結果となりました。

貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日 現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 67,146,068】	【流 動 負 債】	【 32,510,752】
現 金	386,330	買 掛 金	1,864,969
預 金	22,013,917	未 払 費 用	7,475,426
売 掛 金	462,400	未 払 法 人 税 等	2,460,400
商 品	2,610,887	預 り 金	5,232,047
貯 蔵 品	1,230,987	仮 受 金	13,200
前 払 費 用	2,310,000	未 払 消 費 税	2,443,000
未 収 入 金	9,980,920	小 倉 城 関 連 負 債	10,021,710
小 倉 城 関 連 資 産	28,150,627	預 り 敷 金	3,000,000
【固 定 資 産】	【 12,197,928】	【固 定 負 債】	【 9,344,000】
(有 形 固 定 資 産)	(7,854,928)	長 期 借 入 金	9,344,000
建 物	4,660,857	負 債 合 計	41,854,752
建 物 附 属 設 備	3,194,071		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(4,343,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000		
出 資 金	10,000	純 資 産 の 部	
差 入 保 証 金	1,153,000	【株 主 資 本】	【 38,389,244】
敷 金	3,120,000	資 本 金	32,000,000
【繰 延 資 産】	【 900,000】	(利 益 剰 余 金)	(6,389,244)
入 会 金	900,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	6,389,244
		繰 越 利 益 剰 余 金	6,389,244
		純 資 産 合 計	38,389,244
資 産 合 計	80,243,996	負 債 ・ 純 資 産 合 計	80,243,996

損益計算書

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

(単位 円)

科 目	金	額
【売上高】		
事業収入金	115,726,562	
店売上	35,233,555	
小倉城関連売上	196,080,691	347,040,808
【売上原価】		
期首棚卸高	2,723,207	
小倉城関連売上原価	12,020,058	
仕入高	28,226,140	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	42,969,405	
期末棚卸高	△2,610,887	40,358,518
売上総利益金額		306,682,290
【販売費及び一般管理費】		300,630,902
営業利益金額		6,051,388
【営業外収益】		
受取利息	11,296	
雑収入	905,626	916,922
【営業外費用】		
支払利息割引料	130,825	
雑損失	3,714	134,539
経常利益金額		6,833,771
税引前当期純利益金額		6,833,771
法人税、住民税及び事業税		2,450,000
当期純利益金額		4,383,771

販売費及び一般管理費

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	29,415,997
賞 与	830,929
法 定 福 利 費	3,952,524
福 利 厚 生 費	1,372,929
旅 費 交 通 費	1,042,667
通 信 費	765,797
交 際 費	231,257
減 価 償 却 費	814,254
賃 借 料	957,886
保 険 料	190,666
修 繕 費	506,739
水 道 光 熱 費	2,581,357
消 耗 品 費	1,123,381
租 税 公 課	467,810
事 務 用 品 費	149,203
支 払 手 数 料	626,736
諸 会 費	423,280
新 聞 図 書 費	17,143
会 議 費	32,374
販 売 促 進 費	282,228
地 代 家 賃	7,335,709
事 業 運 営 費	64,770,097
協 賛 金	105,000
視 察 費	231,516
雑 費	1,509,449
小倉城関連諸経費	180,893,974
合 計	300,630,902

小倉城関連諸経費の内訳

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	55,039,885
賞 与	9,065,000
雑 給	8,944,048
法 定 福 利 費	11,936,930
福 利 厚 生 費	4,657,604
委 託 費	208,000
旅 費 交 通 費	518,185
通 信 費	908,429
交 際 費	402,949
減 価 償 却 費	12,119
賃 借 料	1,579,819
保 険 料	61,940
修 繕 費	1,025,181
水 道 光 熱 費	9,184,722
消 耗 品 費	1,360,265
租 税 公 課	30,233
車 両 費	82,743
事 務 用 品 費	315,918
広 告 宣 伝 費	1,237,243
印 刷 物 等 作 成 費	1,768,967
支 払 手 数 料	461,650
諸 会 費	105,000
新 聞 図 書 費	90,452
呈 茶 関 連 費 用	7,417,820
文 化 関 連 費 用	34,130,300
清 掃 費	20,912,914
警 備 業 務 費	1,276,840
保 守 点 検 費	3,388,000
協 賛 金	2,125,000
雑 費	2,645,818
合 計	180,893,974

株主資本等変動計算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

(単位 円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	32,000,000
-----	--------------	------------

利益剰余金

 その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高	2,005,473
---------	-------	-----------

	当期変動額 当期純利益	4,383,771
--	----------------	-----------

	当期末残高	6,389,244
--	-------	-----------

株主資本合計

	当期首残高	34,005,473
--	-------	------------

	当期変動額	4,383,771
--	-------	-----------

	当期末残高	38,389,244
--	-------	------------

個別注記表

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）は定額法）を採用しています。

(2) 無形固定資産 定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

減価償却累計額の金額

有形固定資産の減価償却累計額 1,238,832円

その他の注記

販売費及び一般管理費

小倉城関連売上原価、小倉城関連諸経費の内訳は会社保存

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役社長 伊藤 健二 様

第9期事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

平成26年5月27日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役：前川 義広

北九州まちづくり応援団 平成25年部門別損益報告

(単位:千円)

事業区分		収入			損益			備考
		24年度実績	25年度実績	対前年	24年度実績	25年度実績	対前年	
指定管理	指定管理業務 (小倉城・庭園・水環境館)	201,349	196,081	△ 5,268	6,705	3,172	△ 3,533	耐震工事に伴う退職者へ退職一時金を支給したこと、今年3月の小倉城桜祭りが荒天となったことなどにより、収入利益ともに減少した。
小倉	ハロス・インフォメーション・おもてなしトイレ	1,898	1,495	△ 403	△ 2,468	82	2,550	補助金減少に合わせて活動を縮小したため収入減少した。24年度損益は23年度に収入を計上したためマイナスとなった。活動費用実費を請求するため損益は±ゼロが基本。
	共通駐車券事業	48,198	48,883	685	570	2,229	1,659	収入は微増。損益は24年度と比べ、大きな経費計上も無く予定通りの利益となった。
	賑わいイベント事務局事業	5,407	4,728	△ 679	1,446	2,154	708	今期より紫川イベント補助金が減額され、収入は減少した。損益は経費削減に努め利益を確保した。
	市受託事業 (まちづくりサポート)	17,027	13,336	△ 3,691	2,031	△ 4,370	△ 6,401	市からの補助金が減額となり収入損益とも大幅に減少した。減少分を補填すべく他の補助金事業を受託した。
	補助金事業 (商店街支援・起業支援・他)	0	15,330	15,330	0	6,740	6,740	市受託事業の減少分を他の補助金事業を受託しカバーした。
黒崎	市受託事業 (マネジメント・まちづくり応援・回遊性向上)	33,518	24,343	△ 9,175	460	2,877	2,417	市からの補助金が大幅に減額となったため、人員を減らし、経費を節約し、利益を確保した。
新規事業	黒崎・ながしまフード	34,274	35,234	960	725	275	△ 450	24年度5月から事業開始のため、同期間で比較すると25年度収入は実質減少した。大型店舗の開店により、収入利益とも減少した。
	サンリオ小倉ビル	4,318	7,611	3,293	△ 1,125	△ 572	553	24年度10月から事業開始。25年度は託児施設家賃と3階会議室収入の確保努力により損益が改善した。
本社	本社部門費	6,955	0	△ 6,955	△ 3,568	△ 5,753	△ 2,185	24年度特別利益計上のため、本社収入が上がった。25年度は特別利益計上も無く、間接管理費のみを本社部門費としたため、収入損益とも減少した形となった。
合計		352,944	347,041	△ 5,903	4,776	6,834	2,058	収入は対前年98.3%となり若干前年を下回ることとなったが、損益では対前年143.1%と昨年を大きく上回る結果となった。

区分	項目	事業活動内容	
小倉	中心市街地活性化基本計画事業	ハローズ活動	<ul style="list-style-type: none"> ●おもてなし活動の活動内容として、従来商店街での来街者おもてなし活動からイベント支援活動へ重点をシフトし、南北連携の観点から新たに小倉駅北側でのイベントに参加した。 ●参加大学は西南女学院短大・西日本工大を中心に年間129人の学生の参加を得た。 ●参加イベントは、小倉の中心地区で開催されるもので一般来街者向けを中心とした。 ●ぐるめまっぷは、好評なためデザインを一新して平成25年度も発行した。
		インフォメーション活動	<ul style="list-style-type: none"> ●当社ホームページ「こくらTownNavi」の小倉のイベント情報の発信を行うとともに、Facebook・Twitter等のSMSを活用しタイムリーな情報発信を行った。
		おもてなしトイレ	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレマップの情報を更新するため、再度トイレを再調査して、当社ホームページ「こくらTownNavi」のトイレマップにその情報を反映した。
		共通駐車券	<ul style="list-style-type: none"> ●当年度の共通駐車券事業については、利用枚数は対前年101.1%、利用金額は、対前年101.4%と前年を上回ることができた。 ●対前年増加した要因 <ul style="list-style-type: none"> ・契約店舗数2店舗の増加、および契約駐車場1箇所が増加したため。 ・駐車場利用者へPRおよび認知活動のため、チラシを4万枚を印刷し、利用者へ配布した。
	イベント事務局(主催)業務	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の賑わいづくりため次のイベントの事務局(主催)業務を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (1)紫川で会いましょう実行委員会、イベント5回/年、貸ポート(通年) (2)小倉イルミネーション実行委員会:11月～翌年1月 (3)大乾杯大会(主催):11月 	
		市受託業務	<ul style="list-style-type: none"> ●北九州市建築都市局からの受託業務として、低未利用地・空きビルの活用について次のような活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (1)土地・建物オーナーへの事業化提案 <ul style="list-style-type: none"> 土地・建物オーナーからの8件の相談に対し、4件の提案を行った。 (2)リノベーション特区関連調査 <ul style="list-style-type: none"> 空きビル・空き店舗の調査を行い、オーナーへのヒアリングを実施した。 (3)エリアマネジメント調査 <ul style="list-style-type: none"> 中心商店街に応じた空きビルへのテナント候補計画を策定し、リーシングキットを作成した。 (4)まちなか居住の立地調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> 低未利用地・空きビルの現況調査を行い、業者へのヒアリング調査を実施した。 (5)歩行者通行量調査 11箇所で開催実施した。
	補助金事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市受託業務の受託金減額に伴い、次の補助金事業を受託し、減額分の補填と利益確保を図った。 <ul style="list-style-type: none"> (1)全国商店街支援センター補助金事業(創業促進事業、商人塾事業) (2)起業支援型地域雇用創造事業(北九州の子育てママに特化したWebサイト構築事業) 	
		ニューながしまフード	<ul style="list-style-type: none"> ●従来より価格帯の幅を広げて、品揃えや陳列を見直した。 ●店内配置を変え特別コーナーを設置して、お客様に商品の特徴を理解できるようにした。 ●他地域の特産店との連携を深めて、イベントでの賑わいづくりを進めた。
	新規事業	サンリオ小倉ビル	<ul style="list-style-type: none"> ●1Fテナント「カルディ」との良好な関係を維持し、安定した賃料収入確保を推進した。 ●2Fテナント「マトモ」の集客・収益力向上を支援し、当社への賃料収入確保を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「マトモ」の各種補助金申請、業務受託手続きを支援した。 ・魚町商店街と共同のイベント開催し認知PR活動を行うことで有料託児の増加を図った。 ●3F多目的ホールでの会議開催を促進し、子育て女性向け講座を誘致した。 <ul style="list-style-type: none"> ・3Fホールの貸出収入増加とともにマトモの有料託児の増加を図った。

区分	項目	事業活動内容
北九州市受託業務	まちづくりマネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒崎地区の課題である低未利用地や空きビルの活用促進のための取組 1. 低未利用地や空きビル等の活用に関する調査については、130件のアンケート調査及び利活用希望者を対象とした聞き取り調査を実施。また、商連より「長島 ビルの購入を検討したい」との相談を受け、事業計画書作成等の支援活動継続中。 2. まちづくり相談窓口における相談者及び情報交換は42件、うち7件について黒崎商店街において出店となった。 3. 市街地整備に関する事業の検討・提案・立ち上げに向けた、勉強会の支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ① 名店街及び新天街の「建築協定」に関する勉強会の開催支援。理事会として条例制定に向け署名活動を試みたが、目標の80%賛成が得られず活動は棚上。 ② 健全で安全な街づくりをめざす「藤田まちづくりの会」では「地区計画」の条例制定に向けた、関係権利者に対する署名活動も順調で、目標の80%の承諾取り付けが可能な状況となってきており「条例制定」が実現の方向となってきた。 ③ 老朽化が進む藤田なかばし商店街の「アーケード撤去」に対する活動は、理事会をはじめとする関係者の熱心な勉強会等により、撤去に関する承諾を得ることができ、12月中に撤去工事も完了し、市への報告も完了した。 ④ 地区内の遊休不動産を活用した事業の実現化に向け、リノベーションによる空きビル再生について研究のため、商連と調整し小倉地区のリノベーションスクールに若手を中心に2名を参加させ、今後の体制づくりに備えることとした。 4. 公共空間を活用した新たな賑わいづくりの可能性調査については、道路や公園、ペDESTリアンデッキ等を想定し、警察や消防署、保険所等の関係機関との調整を行い「活用のでびき」として取りまとめた。
	まちづくり応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒崎地区の魅力作りに必要な「地元主体のまちづくり」を早期に実現するため、事業関係者との協議・調整や企画立案等の相談・指導・サポートを実施。 1. 回遊性向上研究会活動では、コムシティや八幡西区役所の行政サービス施設のオープン等を念頭におき <ul style="list-style-type: none"> ① 黒崎ライブラリーマップの作成・発行 ② 黒崎コンの開催 ③ 障害者の就労支援の場とし、カムズ商店街に「健康カレー専門店」をオープン ④ タウンシップスクール黒崎マップ部による、「ランチマップ」「黒マシマップ」の発行 ⑤ 「黒崎まちの合唱部」を設立し、毎週練習日を定め市民参加型の活動として展開中。 2. 黒崎ひとづくり・まちづくり推進委員会活動では、地域が主体となった継続的・発展的なまちづくりを推進するため、地域の新たな魅力に繋がる取組やまちづくりの担い手育成をめざし <ul style="list-style-type: none"> ① 宮崎県「水平線の花火と音楽祭」に代表を送り、会場運営やボランティア・広報活動等についての研修。また、東京都中延商店街「街のお助け隊コンシェルジェ」では、黒崎における来街者サービスの組み立てを目的に参加を図る等人材の育成に努めた。 ② 「藤田なかばし銀天街：四季の市」では九州国際大学との連携づくり、「寿商店街：ママビス応援プロジェクト」では「子育てママ世代」や「カタログ△」等、市民団体等との連携を深めることができ、今後の連携にも大きな期待が持てる状況となった。
	回遊性向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地の回遊性向上、黒崎の魅力再発見・商業の活性化を目的とし、個店や人材歴史、文化等様々な魅力を紹介する「黒崎の魅力を再発見するイベント型ツアー」を実施。 ① 年間15回のツアーを実施。(委託業務期間：10ヶ月間だったため) ② ツアー内容としては <ul style="list-style-type: none"> イ) 各店舗を訪問し、オーナーより「お店の歴史」や「主力商品の紹介」「調理方法や保存の仕方」等を学ぶ。(商品を実感) ロ) 周辺施設(新旧施設、歴史的文化財)や周辺企業等の見学による知識の習得。

2号議案

・取締役及び監査役の選任（案）について

(1)株主総会決議事項：取締役および監査役の選任（案）

氏名	生年月日		備考	
利島康司		取締役	北九州商工会議所会頭	(留任)
※ 原田康		取締役	北九州商工会議所副会頭	(新任)
※ 二郎丸聡夫		取締役	北九州商工会議所事務局長	(新任)
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会理事長	(留任)
横矢順二		取締役	北九州市 小倉北区長	(留任)
岡田孝徳		取締役	小倉地区中心市街地活性化協議会 事務局長	(留任)
前川義広		監査役	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長	(留任)

※は新任

伊藤取締役社長、および永田専務取締役は退任。

・取締役の任期期間

至 第9回定時株主総会終結時 (平成26年6月23日)

至 第11回定時株主総会終結時 (平成28年6月末予定)

・監査役の任期

至 第9回定時株主総会終結時 (平成26年6月23日)

至 第13回定時株主総会終結時 (平成30年6月末予定)

【報告事項】

第 10 期平成 26 年度事業計画書

〔 自：平成 26 年 4 月 1 日 〕
〔 至：平成 27 年 3 月 31 日 〕

活動計画の概要

当年度は、「北九州市中心市街地活性化基本計画」（小倉地区・黒崎地区）が平成 26 年 3 月末で終了したものの、今後もまちの賑わいに資するべく「中心市街地活性化事業」として今まで手がけてきた事業を継続したいと考えています。事業内容としましては、①中心市街地活性化事業、②賑わいづくり事務局業務、③北九州市からの受託事業、④指定管理者業務、⑤「ニューながしまフード」事業、⑥「サンリオ小倉ビル」事業を進めてまいります。これらの活動を通して引き続き、小倉・黒崎地区の賑わいづくり・活性化に寄与していきたいと考えております。

このうち小倉地区の「中心市街地活性化事業」として、昨年同様「小倉ハローズ」「インフォメーション事業」「おもてなしトイレ」「共通駐車券事業」を行い、「賑わいづくり事務局業務」とともに、賑わいづくり・活性化に貢献したいと考えています。

「北九州市からの受託事業」（小倉地区・黒崎地区）については、本年も引続き事業受託を予定していますが、市からの受託金が削減されることは確実な状況にあります。そのため、黒崎地区では、体制を見直し、人員の削減や業務委託による外部発注などを通じてコストの削減に努めていきます。また、小倉地区では、昨年同様、他の商店街支援補助金事業を受託することで市からの受託金削減分を補填していく予定です。

「指定管理者業務」（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、今年度も 1 年間を通じて様々なイベント・講習会などを開催していく予定ですが、小倉城が、耐震工事のため、平成 26 年 4 月～9 月までの半年間閉館となるため、大幅に減収となる見込みです。このため、半年間小倉城の人員を削減し、運営費の削減に努めていきます。

「ニューながしまフード」については、今年度黒崎地区で大型商業店舗の開業が予定されており、消費税増税と併せて、さらに厳しい経営を迫られてきます。黒崎商店街の灯を消さないためにも、仕入価格を抑えつつ売れ筋商品を中心に品揃えや配置の見直しを行う等の対策を推進していきます。また、パート社員を削減し運営費を抑え、黒字の確保を図っていく予定です。

「サンリオ小倉ビル」については、1 F テナントの「カルディー」は引き続き来店者が順調に推移していることから安定的な賃料を確保できると考えております。2 F のテナント「ママトモ」については、引続き有料託児人数を増やすためママトモの認知 PR 活動を推進するとともに、市から認可外保育所の認定を受けられるようサポートして行き、補助金の受託に向けて支援していきます。また 3 F の多目的スペースについても、昨年同様「子育て支援講座」などへの貸出しを推進し、2 F のママトモへの有料託児と併せて収入となるように努力してまいります。

26年度事業計画(小倉・新規事業)

別紙 1

区分	項目	事業活動内容	
小倉	地域活性化事業	ハローズ活動	<ul style="list-style-type: none"> ●おもてなし活動の活動内容として、イベント支援を中心に実施するが、商店街内でのおもてなし活動についてもタイムリーに実施する。 ●参加大学は西南短大・西日本工大とする。 ●参加イベントは、小倉の中心地区で開催されるもので一般来街者向け中心とする。 ●トイレマップを更新し発行を今年度、発行予定。
		インフォメーション活動	<ul style="list-style-type: none"> ●当社HP「こくらTownNavi」の小倉のイベント情報は、以外の「空き店舗情報」、「出店者支援」をタイムリーに更新し新規出店者の利便性を向上する。
		おもてなしトイレ	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレマップの情報を更新するため、再度トイレを再調査して、トイレマップを更新発行を行う、併せてAED設置場所の情報を追加する。
		共通駐車券	<ul style="list-style-type: none"> ●共通駐車券事業については、車での来街者の利便性を向上させるため参加店舗を増やすようにPRを継続して行っていく。
	イベント事務局(主催)業務	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度も、中心市街地の賑わいづくりため次のイベントの事務局(主催)業務を行う予定 (1)紫川にぎわいづくり実行委員会、イベント5回/年実施予定 (2)小倉イルミネーション実行委員会:11月～翌年1月 (3)大乾杯大会(主催):11月 	
	市受託業務	<ul style="list-style-type: none"> ●北九州市建築都市局からの受託業務として、低未利用地・空きビルの活用について次のような活動を行う。 (1)土地・建物オーナーへの事業化提案 土地・建物オーナーからの相談12件に対し、4件の提案を行う。 (2)リノベーション特区関連調査 空きビル・空き店舗のオーナーに対してアンケート調査を行い、意識を把握する。 (3)エリアマネジメント調査 商店街のモール化に向けリーシング計画を策定する。 (4)起業家・来街者の意識調査・分析 起業家・来街者の意識調査を実施し、現在不足しているもの・ことのアぶり出しを行う。 (5)リノベーション啓発事業 	
	補助金事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市受託業務の受託金減額にともない、商店街支援補助金業務を受託し、収益を確保する。 (1)全国商店街支援センターの補助金事業「継続型・創業促進支援」を受託する。 	
	新規事業	ニューながしまフード	<ul style="list-style-type: none"> ●仕入価格を抑えるため、安売り店で購入を徹底する。 ●品揃えや配置について売れ筋商品を中心に見直しを行う。 ●4月よりパート社員1名減により、店長1名+パート2名体制とし、一般管理費を削減する。
		サンリオ小倉ビル	<ul style="list-style-type: none"> ●1Fテナント「カルディ」との良好な関係を維持し、安定した賃料収入を確保する。 ●2Fテナント「マトモ」の集客・収益力向上を支援し、当社への賃料支払い確保を進める。 ・「マトモ」の認可外保育所の認定をサポートし、各種補助金申請、業務受託手続きを支援する。 ・魚町商店街と共同のイベント開催で、マトモへの集客を進める。 ●3F多目的ホールでの会議開催を推進し、子育て女性向け講座の誘致を図る。 ・3Fホールの収入の増加とともに2Fマトモの有料託児の増加を図る。

区分	項目	事業活動内容
黒 崎 (市受託事業)	まちづくり 応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒崎地区の活性化に必要な継続的・発展的なまちづくりを推進するため、地域(民間)が主体となった事業を喚起するとともに、まちづくり活動や担い手育成の支援、地域連携の推進、意欲ある事業者の自立支援等、地域に密着したサポートを行う。 (1) 地域(民間)主体の事業喚起 <ul style="list-style-type: none"> ① 低未利用地(駐車場や空き地)や空きビル等の利活用に関する調査。 ② 地域のイメージアップ、環境改善に向けた勉強会の開催。(年/10回程度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休不動産(空家)のリノベーション ・ 地区計画による風俗規制 ・ 老朽アーケードの今後のあり方検討 …等に関する勉強会を開催し地域の環境改善等の啓発や働きかけを行う。 ③ 地域(民間)主体の事業等に繋がる事業化の提案。(年/2回程度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記①②の成果を踏まえ、地権者や民間事業者等に対して、既存ストックの活用促進のための事業化提案を行う。 ・ 当該地区の現状や課題、市民ニーズ、経済情勢を踏まえ、最新情報を幅広く収集してノウハウとして蓄積し、適宜情報発信を行う。 (2) ひとづくり・まちづくり活動のサポート <ul style="list-style-type: none"> ① 商店街や地元団体、市等で構成される「黒崎ひとづくり・まちづくり推進委員会」においては、事務局を補佐し活動支援を行う。 ② イベント主催者及びまちづくり団体等の人的交流やネットワークを促進する進するための働きかけを行い、全体会合の場を設ける。(年/2回程度) (3) 地域(施設)連携、コミュニティ形成、広報のサポート(年/4件程度) <ul style="list-style-type: none"> ① 子育て世代のニーズを捉えたサービスの提供等を促進するため、コムシティや図書館、商店街等とのネットワーク構築・連携促進等の働きかけを行う。 ② 大学の英知や若者の感性をまちづくりに活かすため、コムシティのサテライトキャンパスを拠点として、大学と地域が連携するコミュニティ形成等の働きかけを行う。 ③ 地域の強み(医療施設の集積等)を活かしたまちづくりを推進するため、高齢化社会を見据えた医・商連携や、安川ロボット村との地域連携等の働きかけを行う。 ④ まちのイメージアップや交流促進を図るため、地元の情報発信等支援する。 (4) 意欲のある事業者の自立サポート(年/3件程度) <ul style="list-style-type: none"> ① 意欲のある個店及び商店街に対して、情報提供や勉強会等の支援を行う。 ② 商店街が行う当該地区内及び周辺の大規模商業施設との連携を支援するとともに、他都市における情報の提供等を行う。 ③ 街なかへの出店相談者の支援(通年実施) <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口を設置し、商店街での出店に関するアドバイスや支援制度等の情報提供を行う。

会社の概要

平成26年6月5日現在

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託
- ④食料品・日用雑貨等の小売販売

(2) 事業所

本社

- ・北九州市小倉北区魚町2丁目2番11号

黒崎支店

- ・北九州市八幡西区黒崎2丁目8-7 長島ビル 2階

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園・水環境館）

- ・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城） 他

ニューながしまフード

- ・北九州市八幡西区熊手1-1-18

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

(4) 株主の状況

株主名	持株数
北九州商工会議所	60株
株式会社井筒屋	60株
TOTO株式会社	60株
株式会社安川電機	60株
小倉中央商業連合会	60株
協同組合日専連北九州	60株
シャボン玉石けん株式会社	60株
株式会社アパマンショップホールディングス	20株
第一交通産業株式会社	20株
西鉄バス北九州株式会社	20株
中央記念株式会社	20株
株式会社コレット井筒屋	20株
国際興業株式会社	20株
株式会社九広	20株
石川金属工業株式会社	20株
福岡地所株式会社	20株
株式会社朝日広告社	20株
北九州市	20株
合計	640株